

国民健康保険税の引き下げを求める陳情

(陳情の要旨)

今、市民の暮らしは非正規労働者の増加や年金支給額の引き下げ、今年 10 月に実施された消費税の増税等により、ますます厳しくなっています。また、いちき串木野市の国民健康保険税は高齢者や低所得世帯が中心で、家計に大きな負担となってきました。「国保税が高くて払えないので、分納している」と小さい子供を持つシングルマザーや「国保税はなぜこんなに高いの?」という市民の声が上がっています。

全国知事会、全国市長会、全国町村会などの地方団体は国に対して、加入者の所得が低い国民健康保険税が他の医療保険より保険料が高く、負担が限界になっていることを「国保の構造問題」だとし、国保を持続可能とするためには、被用者保険との格差を縮小するような、抜本的な財政基盤の強化が必要だと主張しています。日本医師会などの医療関係者も、国民皆保険制度をまもるために、低所得者の保険税を引き下げ、保険証の取り上げをやめるよう求めています。

いちき串木野市は平成 30 年度 1 億円を超える繰越金があることから、国保加入者に 1 世帯 1 万円の減額が可能です。市民の命と健康を守るために、国民健康保険税を 1 万円引き下げることを求めます。

(陳情項目)

1. 国民健康保険税を 1 世帯 1 万円引き下げてください。

令和元年 11 月 25 日

陳情者 住所 いちき串木野市金山下 13944-1
氏名 国保を良くするいちき串木野市の会
代表 木 下 香 里